

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	教育社会学				
担当者氏名	佐川 宏迪				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

いかなる教育実践が「望ましいのか」といった発想から距離をとり、社会学的な視点から冷静にまたときに批判的に教育現象をとらえることは、教育現場の諸問題に対応する際にも求められる。こうした姿勢を身につけることを目指し、この講義では、私たちが経験してきた身近な教育現象のメカニズムを社会学の視点から解説していく（尚、授業計画および講義形式は受講者数や進捗状況等をかながみて調整・変更することがある）。

《授業の到達目標》

本科目は、これまで教育社会学にふれる機会のなかった学生を念頭に置いて展開する。したがって、まずは（教育）社会学的な発想・視点とはどのようなものであるのかを理解することを目標とする。そのうえで、さらに身の回りの教育現象を社会学的な視点から論じることができるようになることを目指す。

《成績評価の方法》

平常点（毎回の振り返り用紙の内容・授業参画度）40%
レポート60%

《テキスト》

初回授業で提示する。

《参考図書》

講義のなかで適宜紹介する。
なお、学習するテーマの理解を深めるために、講義において映画やドラマ等の視聴覚資料を使用することがある。

《授業時間外学習》

テキストの次回学習する箇所に目を通し、自分なりにどのように理解したか、また自身の経験に照らして何を考えたか、述べられる程度に準備しておく。

《備考》

興味を持った学生は、ぜひ身構えずに受講してほしい。
尚、私語等他の受講者の妨げになる行為は厳に慎むこと。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業計画および内容、評価方法の説明、次回以降に向けての準備等
2	教育社会学とは何か	教育現象を社会学的な視点からとらえるとはどのようなことか
3	能力と学歴の社会学①	「能力がある」とはどういうことだろうか
4	能力と学歴の社会学②	能力があるから就職できるのか、学歴があるから就職できるのか
5	能力と学歴の社会学③	「コミュニケーション力」や「コネ」をどうとらえたらよいだろうか
6	学校教育と文化①	学校に「なじめる」ことと文化が関係しているとはどういうことだろうか
7	学校教育と文化②	「反学校文化」はいかにして形成されるのだろうか
8	学校教育と文化③	「ヤンチャな生徒」との関わりについて考える
9	教師をとりまく状況①	教師の多忙化を考える
10	教師をとりまく状況②	いじめ問題をどう考えたらよいだろうか
11	教師をとりまく状況③	学校の「駆け込み寺」として保健室をとらえる
12	教育問題の医療化	「発達障害」のように児童・生徒の問題を医療の対象ととらえることについて考える
13	教育問題を語ること	教育や子どもの「問題」を語ることはらむ危うさについて考える
14	教育問題の背後にある生徒の困難	不登校や高校中退を経験した生徒の背後にどのような困難があるのかを考える
15	まとめ	まとめとレポート提出